

# 事業完了報告会

スーダンにおける学校菜園を通じた  
子どものライフスキル向上

高田みほ

特定非営利活動法人ホープフル・タッチ  
代表理事・事務局長



# ホープフル・タッチ とは



国際社会から忘れられた弱い立場にある子ども達に手を差し伸べ、**コミュニティの発達**を通じて**子どもの発達と平和**を促進し、子どもが子どもらしく成長できるよう活動する団体。

## 【活動分野】

教育、子ども保護、保健・衛生、子どもの参加



# 基本情報

面積：188万平方km（日本の5倍）

人口：4555万人（2021年）

民族：主にアラブ人+200以上部族

宗教：イスラム教、キリスト教、  
伝統宗教

元首：ブルハン主権評議会議長  
（国軍最高司令官）

※大統領、首相不在



## 年表から見る課題

- 1955年 (南部スーダン) 第一次内戦勃発
- 1956年 スーダン共和国独立
- 1958年 軍事クーデター (軍事政権化)
- 1969年 軍事クーデター
- 1972年 (南部スーダン) 第一次内戦終結
- 1983年 (南部スーダン) 第二次内戦勃発
- 1989年 軍事クーデター・バシル軍事政権成立
- 2003年 ダルフール紛争勃発 (継続中)
- 2009年 ICCからバシル大統領への逮捕状発布
- 2011年 南スーダン独立
- 2011年 南部2州武力衝突 (継続中)
- 2018年 大規模な反政府運動開始
- 2019年 軍事クーデター・バシル大統領失脚 (民主化?????)
- 2021年 軍事クーデター・暫定政府首相を拘束
- 2022年 首相辞任
- 2023年 国軍と準軍事組織間の内戦勃発



# 数字から見る課題

人間開発指数  
(2022)  
0.516  
170位/193カ国

Misery Index  
(2023)  
212.9  
6位/157カ国

人道危機  
国民の半数  
800万人避難

深刻な食糧危機  
国民の37%

5歳未満  
急性栄養失調  
340万人



## 数字から見る課題

小学校就学率  
78.95%  
185位/191カ国

小学校最終学年  
進級率  
64.1%



農業に依存  
80%

農地面積  
6,800万ha  
アフリカ3位

油性種子の輸出  
世界1位

# 暮らしから見る課題



社会機能の  
不安定さ



マネジメント  
の難しさ



物価高騰  
為替変動



資源の  
活用不足

# 暮らしから見る課題



協調性を  
育む機会の  
不足



子どもの  
発達機会の  
不足



取り組みの  
少なさ

# 課題からの注目点

給食・補助金のない公立小学校→**自立的に**環境改善

すでにもっている人的・環境的**資源の活用**方法

計画性のあるマネジメント・動機づけ→**成果**を実感

心身共に健康に生きるための**ライフスキル**を獲得

問題意識への**取組み方**を提案

# 課題改善へのプロセス

## 目標

学校菜園活動を通じて、ハルツーム州ジャバルオーリア・オムドルマンの公立小学校6校の第4-8学年1,800名の食に関するライフスキルが向上する。



## Output

対象校6校の生徒・教師が学校菜園で効率的・効果的に野菜を収穫する知識と手法を獲得する。

対象校6校におけるライフスキル教育の質が向上する。

対象校6校の菜園管理グループに所属する生徒・教師の心理社会的行動が改善する。



## 活動

学校菜園の拡大と運営

食育ワークブックの作成

生徒へのトレーニング

教師へのトレーニング

# プロジェクト概要

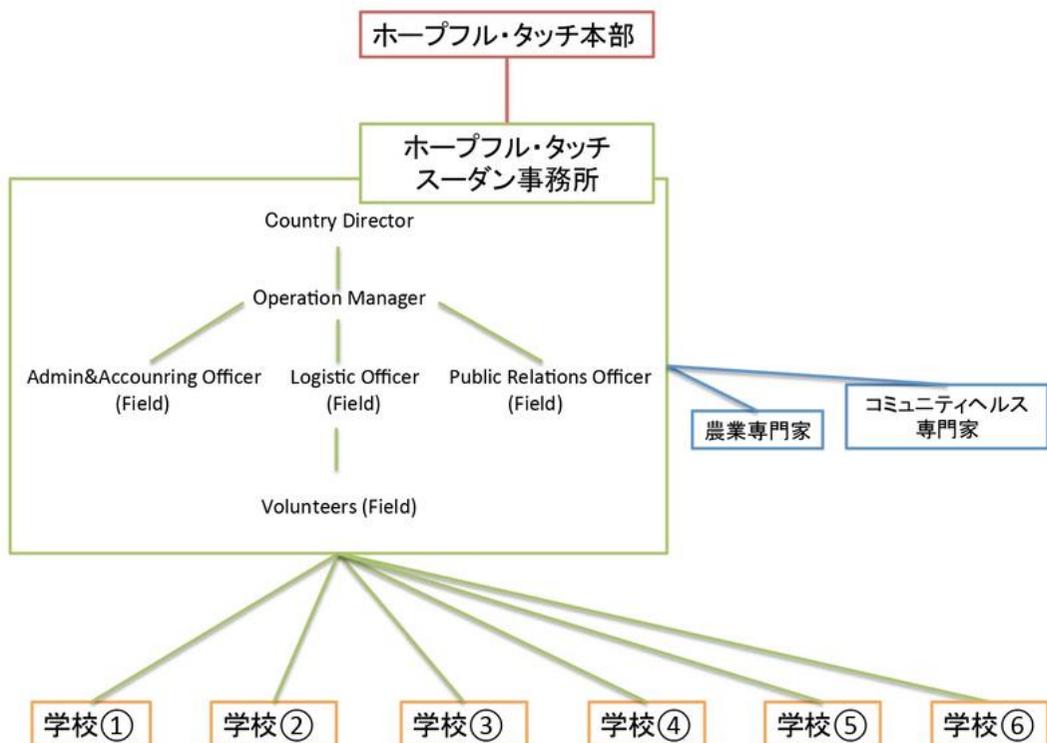
対象地

ハルツーム州ジャバルオーリア、オムドルマン

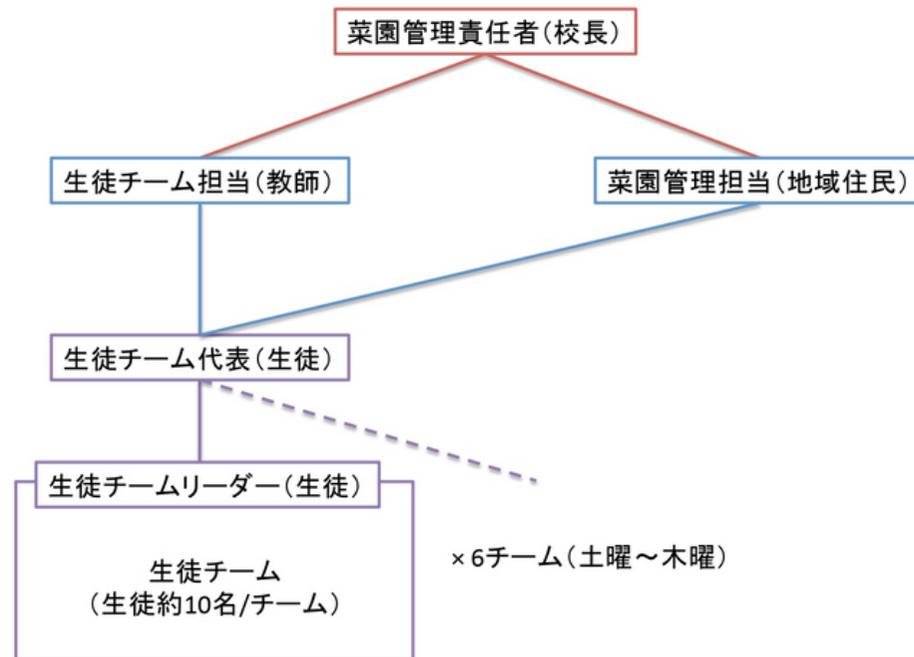
裨益者

遠隔農村地の公立小学校6校、第4-8学年1,800名、教師90名

## 実施体制



## 学校菜園管理グループ



# 菜園の拡大と運営

- 作付け面積を拡大
- 菜園管理グループの能力強化

## 収量（2022年度）

- ソラマメ：14.8%増
- トマト：7.4%増
- オクラ：13.2%増

## 野菜

ニンジン、レンズマメ、ナス、ネギ、ウリ、カブ、ルッコラ、モロヘイヤ、ハイビスカス（ティー用）、ハーブ類

## 果物

レモン、オレンジ、グアヴァ、マンゴー



# 食育ワークブックの作成

- 「ライフスキル」科目教科書中「栄養と健康」を改善
- 食と健康・農業・文化
- 教科書<<アクティビティ
- プロセスへの関わり  
教師  
現地専門家（農業、CH）  
教育省School Feeding & Health Dep.  
弊会スタッフ
- 教育省から公式に発行
- 生徒一人一人に配布



# 生徒へのトレーニング

- ワークブックの内容
- 知識 + 実践
- 複数のアプローチ  
現地専門家（農業、CH）  
教師  
弊会スタッフ
- 生活との結びつき
- 授業 << アクティビティ
- 反復的に伝える工夫
- 家庭菜園の導入



# 教師へのトレーニング

- 知識の確認 + 指導法の実践
- 複数のアプローチ  
現地専門家（農業、CH）  
教育省  
弊会スタッフ
- 教育省から公的な研修参加証明書  
を発行
- 他校の教師間のコミュニケーション  
促進
- 教師のモチベーション向上

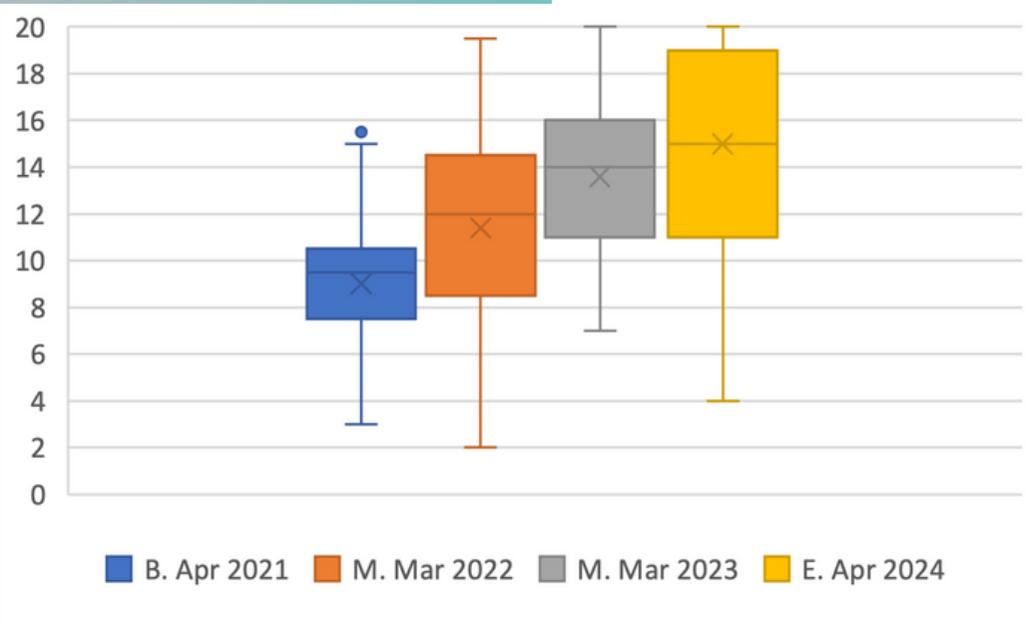


# プロジェクト目標

目標	学校菜園活動を通じて、ハルツーム州ジャバルオーリア・オムドルマンの公立小学校6校の第4-8学年1,800名の食に関するライフスキルが向上する。
指標	事業終了時まで、対象校第4-8学年1,800名のライフスキル教科科目「食と栄養」セクションの試験平均点が事業開始前より20%増加する。
測定方法	公教育におけるライフスキル教科試験結果（20点満点）
結果	横断データ平均点の増加率：34.38% 達成 縦断データ平均点の増加率：67.14% 達成
考察	<ul style="list-style-type: none"><li>• 知識（トレーニング）と実践（菜園活動）</li><li>• 実物を含む視覚的教材</li><li>• インタラクティブな指導法</li><li>• ワークブックによる自習</li><li>• 家庭菜園</li></ul>

# プロジェクト目標 縦断データ (149名)

ライフスキル科目試験結果 (20点満点)



	Mean	S.D.
B. Apr 2021	9.01	2.60
M. Mar 2022	11.39	3.83
M. Mar 2023	13.58	3.22
E. Apr 2024	14.99	4.42

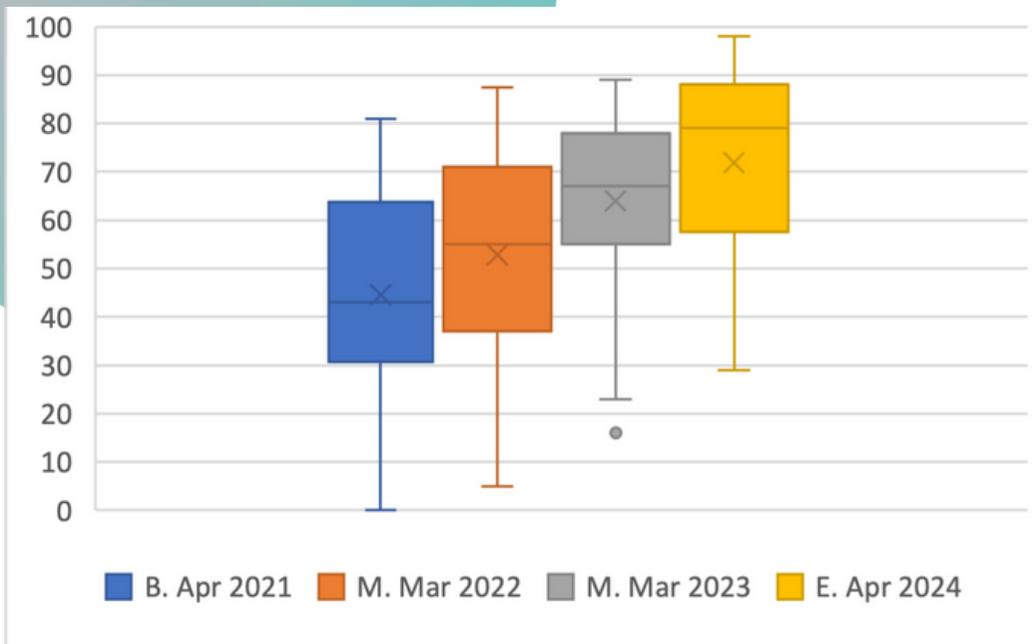
同じ生徒149名のベースライン、モニタリング2回、評価時のライフスキル教科試験結果について、一元配置反復測定分散分析を実施。時間経過に従い生徒の平均点に有意な差があった ( $F(3, 444)=167.63$ 、 $p<.0001$ )。

# Output 1

<b>Output</b>	対象校6校の生徒・教師が学校菜園で効率的・効果的に野菜を収穫する知識と手法を獲得する。	
<b>指標</b>	2024年3月までに対象校6校の菜園管理グループの生徒（第4-8学年）360名・教師12名の95%以上が菜園管理に関するテストで85点以上を得る。	
<b>測定方法</b>	菜園管理試験結果（100点満点）	
<b>結果</b>	生徒（第5-8学年）：29.01% 未達成 教師：100% 達成	
<b>考察</b>	<b>【生徒】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 基礎知識の復習</li><li>• 視覚的教材と実習</li><li>• 家庭菜園</li></ul>	<b>【教師】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 複数アプローチからの研修</li><li>• ワークブック作成への参加</li><li>• 教師間の学び合い</li><li>• 生徒への指導法検討</li></ul>

# Output1 生徒縦断データ (149名)

菜園管理試験結果 (100点満点)



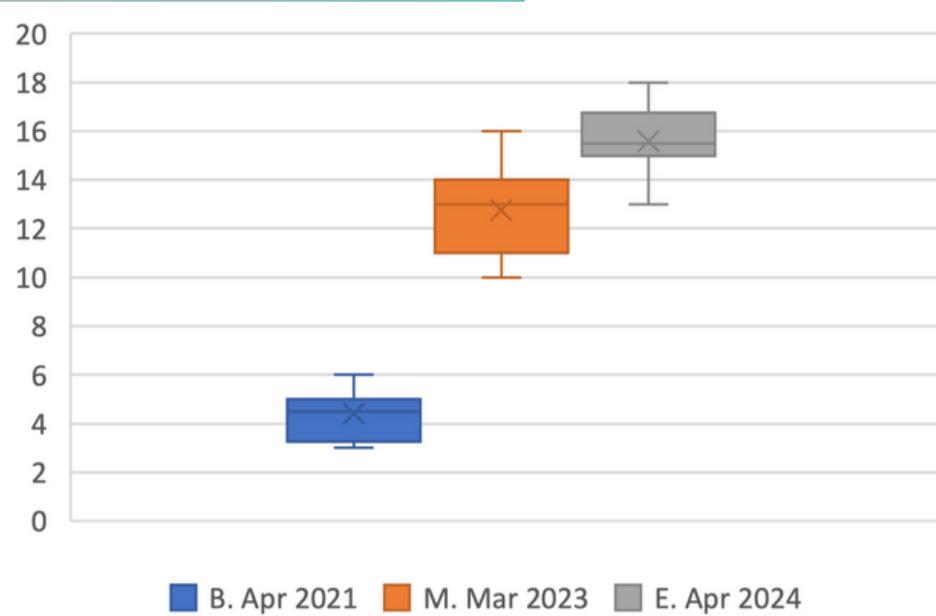
	Mean	S.D.
B. Apr 2021	44.57	20.39
M. Mar 2022	52.85	20.54
M. Mar 2023	63.95	16.75
E. Apr 2024	71.91	18.24

同じ生徒149名のベースライン、モニタリング2回、評価時の菜園管理結果について、一元配置反復測定分散分析を実施。時間経過に従い生徒の平均点に有意な差があった ( $F(3, 444)=248.55$ 、 $p<.0001$ )。

## Output 2

Output	対象校6校におけるライフスキル教育の質が向上する。
指標	2024年3月までに対象校教師90名の食育指導スキルチェックの平均値が20%増加する。
測定方法	食育指導スキルチェック（20点満点）
結果	横断データ：平均点の増加率：224.20% 達成
考察	<ul style="list-style-type: none"><li>• 指導法トレーニング内のロールプレイ</li><li>• トレーナー及び他校教師間の意見交換</li><li>• スタッフによる授業デモンストレーション→モデリング</li><li>• 指導内容のパッケージ化</li></ul>

## Output2 教師縦断データ（12名） 食育指導スキルチェック結果（20点満点）



	Mean	S.D.
B. Apr 2021	4.42	1.04
M. Mar 2023	12.75	1.88
E. Apr 2024	15.58	1.32

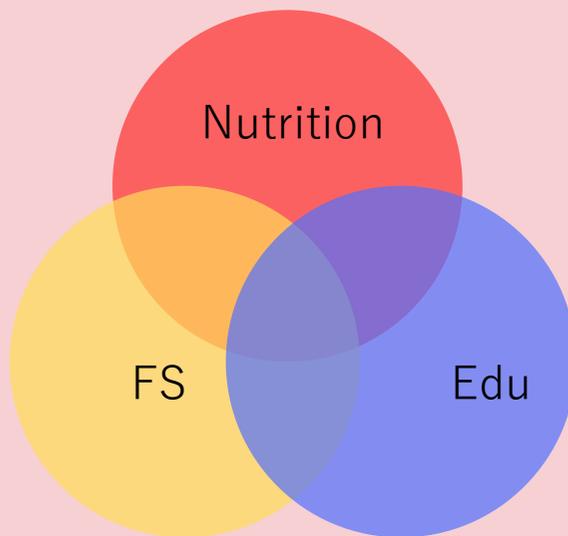
同じ教師12名のベースライン、モニタリング1回、評価時のスキルチェック結果について、一元配置反復測定分散分析を実施。時間経過に従い教師の平均点に有意な差があった（ $F(2, 22)=208.48$ 、 $p<.0001$ ）。

## 副次的Output

Output	対象校6校の菜園管理グループに所属する生徒・教師の心理社会的行動が改善する。
指標	2024年3月までに対象校6校の菜園管理グループに所属する生徒・教師のポジティブな心理社会的行動が観察・意識される。
測定方法	子どもの強さと困難さアンケート（SDQ）
結果	心理社会的困難さをもつ生徒の割合：44.16%→31.17% <ul style="list-style-type: none"><li>• 「できるようになった」</li><li>• 「自身がついた」</li><li>• 「うれしかった」 / 「楽しかった」</li></ul>
考察	<ul style="list-style-type: none"><li>• チームワーク・協働管理</li><li>• 生徒によるマネジメント</li><li>• 成果としての収穫物</li><li>• 家庭菜園へ応用する体験</li></ul>

# Lessons Learned

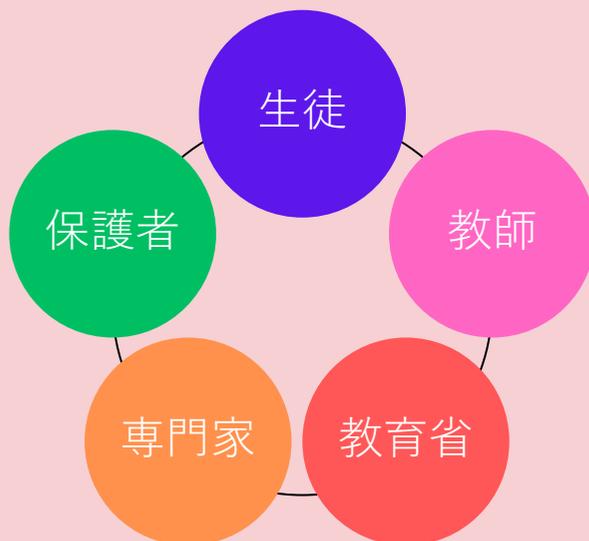
マルチセクトラルな  
事業形成



Life Skills



ステークホルダー間の  
パワーバランス



## 活動の自立性・継続性



### 学校菜園の管理

ハード・ソフト面で、  
自立的な運営管理が可能。  
校内の取り組みとして組織化。



### 食に関する ライフスキル教育

教師間で指導法を共有  
・伝達。ワークブック  
の普及。



### 家庭菜園の導入

一部生徒家庭（保護者の協力）。  
全体的にプログラム化された  
トレーニングは未実施。

ありがとうございました。

